

■ドイツ：大手電気事業者 E.ON、15 億ユーロのグリーンボンドを発行

エネルギー・環境情報サイトは 2019 年 8 月 22 日、大手電気事業者の E.ON が 15 億ユーロ（約 1,800 億円）のグリーンボンドを発行したことを報じた。これらの資金はインフラ構築やエネルギー効率化に使われる予定で、具体的には送配電システムの近代化やスマートメータ設置などカスタマーソリューション関連に充てられる。ドイツの電気事業者としては EnBW が 2018 年後半に 5 億ユーロ（約 600 億円）、また 2019 年 7 月には 10 億ユーロ（約 1,200 億円）を起債し、再生可能エネルギーや EV 充電器の設置に活用することを発表している。このようにグリーンボンドを通じて資金調達を行う動きは世界で拡大している。また金融機関も持続可能な投資に関心が向いており、気候変動対策を進める上で、資金調達の在り方はますます重要になっている。